

いばらきサイクルツーリズム構想

～「サイクリング王国いばらき」の実現をめざして～

茨城県

目 次

1	いばらきサイクルツーリズム構想策定の趣旨	1
1.1	策定の背景及び目的	
1.2	構想の位置づけ	
2	本県のサイクルツーリズムを取り巻く現状及び課題	2
3	策定にあたっての基本的な考え方	2
4	目指す将来像	3
5	サイクルツーリズムを推進するためのターゲット及びセグメンテーション	4
5.1	ターゲット	4
5.2	ターゲットのレベルに応じたセグメント分け	4
5.3	セグメントに応じた施策の進め方	5
6	サイクルツーリズムの推進に向けたモデルルートの充実	6
7	サイクルツーリズムを推進するための主な施策	7
7.1	施策の方向性	
7.2	施策の内容	
8	モデルルート図	8

1 いばらきサイクルツーリズム構想策定の趣旨

1.1 策定の背景及び目的

各地域の豊富な地域資源や様々な体験を組み合わせた新たな観光需要を発掘し、地域を巡り、沿線の自然や食などの魅力を体験するサイクルツーリズムの推進による地方創生の取組が活発化しています。

平成 29(2017)年 5 月には、国をあげて自転車の活用を総合的・計画的に進めるため「自転車活用推進法」が施行され、平成 30(2018)年 6 月に策定された第 1 次自転車活用推進計画において、サイクルツーリズムの推進（我が国を代表し世界に誇る「ナショナルサイクルルート」の創設等）による観光立国の実現が、自転車活用の推進に関わる目標の一つとして掲げられました。

このような流れを踏まえ、本県では、平成 31(2019)年 2 月、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を活用した地方創生の取組をさらに深化させつつ、県内各地域の特色を最大限に活かしたサイクルツーリズムを全県的に推進し、地域の活性化等につなげていくため、本県のサイクルツーリズムの推進に係る基本的な考え方などを定めた「いばらきサイクルツーリズム構想」を策定し、同年 3 月に策定した「いばらき自転車活用推進計画」において、本県における自転車の活用による地域の活性化等に向けた取組を総合的・計画的に進めてまいりました。

その結果、令和元（2019）年 1 1 月、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」は、国を代表し、世界に誇りうるサイクルルートである「ナショナルサイクルルート」の第 1 次指定を受け、国内外に対する知名度向上が図られているほか、モデルルートとして設定した「奥久慈里山ヒルクライムルート」「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」についても、官民連携の協議会を設立し、国土交通省の「サイクルツーリズムの推進モデルルート」に設定されるなど、全県的なサイクルツーリズムの取組が進展しているところです。

このような中、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う、サイクリングなどのアウトドア需要の高まりや、SDGs（持続可能な開発目標）の理念も踏まえ、更なる地域の活性化等につなげていくため、全県的なサイクルツーリズムを一層推進してまいります。

1.2 構想の位置づけ

本構想を推進するにあたっては、茨城県総合計画及びいばらき自転車活用推進計画との連動を図っていきます。

2 本県のサイクルツーリズムを取り巻く現状及び課題

令和2年度における「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の利用者数は、調査開始以来初めて10万人を突破するなど、官民連携の下、地方創生の取組が着実に進展してきております。

また、新たに整備された「奥久慈里山ヒルクライムルート」及び「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」においても、官民連携協議会が設立され、つくば霞ヶ浦りんりんロードでの取組を活かした情報発信や受入環境の整備が進んでいます。

一方で、サイクリストの消費額は伸び悩んでおり、稼げる地域づくりを実現するためには、受入環境の整備はもちろんのこと、食・花・お土産といった観光資源に加え、県内各地にある起伏に富んだ山々、広がる平野、河川や湖沼、海岸線などの風光明媚な自然環境を活かしたアドベンチャーツーリズムなど魅力的な地域資源の磨き上げや国内外に向けた情報発信などを通じ、宿泊を含む長期滞在につながる取組を推進していく必要があります。

サイクルツーリズムの推進にあたっては、現在のコロナ禍におけるアウトドア需要の高まりを的確に捉え、SDGsの理念も踏まえながら、アフターコロナを見据えた情報発信の強化、サイクリストの受入環境やサイクリングルートの更なる充実を図り、地域活性化につなげていく必要があります。

3 策定にあたっての基本的な考え方

サイクリングの楽しみ方は、乗る人や目的によって様々であり、それらに応じたセグメント分けをしっかりと行い、ターゲットを明確にし、ルートの特性を活かした施策をターゲットごとに訴求することにより、サイクルツーリズムの流れを全県へ波及させていきます。

また、施策の推進にあたっては、県だけでなく、市町村や民間企業・団体、さらには地域の様々な主体と適切な役割分担の下、相互に連携しながら取り組んでいくことを基本とします。

4 目指す将来像

国内外からのサイクリストが「安心して」「何度も」「楽しめる」 サイクリング王国いばらき の実現

茨城県は海・山・川・湖と自然豊かで日本ならではの原風景が広がります。

また、平坦で肥沃な土地が広がり、自転車は走りやすく、サイクリング中でも地元の新鮮で豊富な食材を味わえます。

県内各地で、花が咲き、果物が実り、草木が色づき、季節ごとの楽しみがあります。

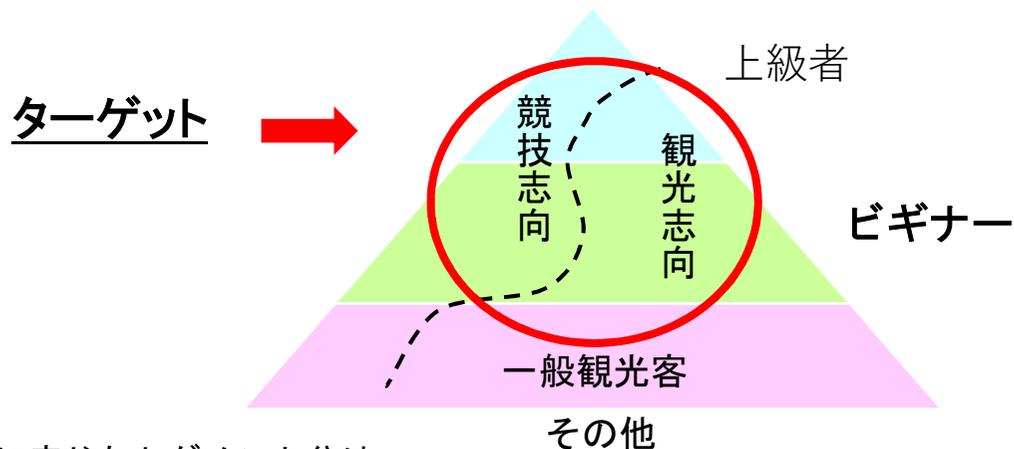
キャンプをはじめレジャー施設が豊富にあり、アクティビティとサイクリングと組み合わせれば、楽しみ方は無限大。

サイクリングの魅力や楽しみを存分に満喫できる地域の中で、一番アクセスしやすい場所、それが茨城県です。

5 サイクルツーリズムを推進するためのターゲット及びセグメンテーション

5.1 ターゲット

サイクリング愛好者を中心に、体験観光を志向する一般観光客（女性やシニア層等）をメインターゲットとする。



5.2 ターゲットのレベルに応じたセグメント分け

セグメント			自転車活用の主な目的	セグメントの定義
レベルに応じたサイクリング目的	サイクリング愛好家	上級者	<ul style="list-style-type: none"> ● 本格的なライド系イベント・レースに参加（ロードレース、ヒルクライム、クリテリウム、タイムトライアルなど） ● 手軽な練習場として定期的に来訪し、長距離のサイクリングを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング頻度 → 週に1回、月2～3回程度 ・サイクリングに利用する自転車の種類 → ロードバイク・クロスバイク・MTB
		ビギナー	<ul style="list-style-type: none"> ● サイクリング最適の地として友人やビギナーを連れ、地域の食や自然などを楽しむ ● サイクリングイベント(特にグルメ系)に参加 	
	一般観光客	上級者	<ul style="list-style-type: none"> ● ライド系イベント・レースに初参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング頻度 → 2～3ヶ月に1回程度 ・サイクリングに利用する自転車の種類 → 種類問わず
		ビギナー	<ul style="list-style-type: none"> ● 初めてのロングライドを体験 ● 家族で来訪し、地域の食や自然などを楽しみながら安全なコースをサイクリング ● サイクリングイベント(特にグルメ系)に参加 	
	一般観光客	<ul style="list-style-type: none"> ● 「モノ消費」から「コト消費」への消費スタイルがシフトし、様々な体験を組み合わせた新たなサイクリング観光（地域内の食や地域資源を巡りながらサイクリング）（サイクリングとクルージングなどを組み合わせながら地域を楽しむ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング頻度 → ほとんどしない、したことがない 	

5.3 セグメントに応じた施策の進め方

セグメント			施策の内容	施策の効果	
セグメントに応じた施策の進め方	サイクリング愛好家	上級者	競技志向	<ul style="list-style-type: none"> ● ライド系イベント・レースに適したコースの設定、コースの詳細情報の収集・発信 ● ライド系イベント・レースの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイクリストに好まれる的確な施策検討につながる。 ・ 参加にともなう来訪 ・ 参加者による SNS 等での発信 ・ 練習等による来訪も期待できる。
			観光志向	<ul style="list-style-type: none"> ● ビギナーや一般観光客(非サイクリスト)も一緒に楽しめる具体的な事例の収集・発信 ● ポタリング等企画・ツアーの開催 ● サポートライダーとして、企画・ツアー等の協力依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビギナー・一般観光客を巻き込める的確な施策検討につながる。 ・ 参加にともなう来訪 ・ 参加者による SNS 等での発信 ・ サポートライダーを活用した企画・ツアー等の商品造成
		ビギナー	競技志向	<ul style="list-style-type: none"> ● ライド系イベント・レースに適したコースの設定、コース詳細情報の発信 ● ライド系イベント・レースの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加にともなう来訪 ・ 参加者による SNS 等での発信 ・ 練習等による来訪も期待できる。
			観光志向	<ul style="list-style-type: none"> ● 友人やビギナー、一般観光客(非サイクリスト)を連れて楽しめる具体的な事例の発信 ● ポタリング等企画・ツアーの開催 ● レンタサイクルの充実・促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加にともなう来訪 ・ 参加者による SNS 等での発信 ・ レンタサイクルにより、様々な地域からの来訪、上級者の家族・友達の来訪が期待できる。
	一般観光客		<ul style="list-style-type: none"> ● 友人やビギナー、一般観光客(非サイクリスト)を連れて楽しめる具体的な事例の発信 ● サイクリング愛好家を参加者に含めた、初心者でも安心して楽しめる企画・ツアーの開催 ● レンタサイクルの充実・促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイクリング愛好家との接点ができ、サイクリングの魅力を感じてもらえる。 ・ 参加にともなう来訪 ・ 参加者による SNS 等での発信 ・ レンタサイクルにより、様々な地域からの来訪、上級者の家族・友達の来訪が期待できる。 	

6 サイクルツーリズムの推進に向けたモデルルートの充実

以下の4つの視点より設定した県内各地域の豊富な地域資源を有機的に結びつけたモデルルートについて、ルートの補完や街なかへの支線ルートづくりを推進し、より迷わず、安心して楽しくサイクリングができるよう充実を図ります（P8参照）。

- ① サイクリストのレベル ② 魅力ある資源をつなぐ ③ ルートごとの特色を反映 ④ 安全・安心、快適性

- ① 奥久慈里山ヒルクライムルート：県内最高峰・八溝山の山頂や里山の風景を巡るチャレンジルート（約200km）
- ② つくば霞ヶ浦りんりんルート：「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を核とした多様な地域資源を巡るルート（約288km）
- ③ 大洗・ひたち海浜シーサイドルート：美しく、変化に富んだ海岸線などを爽快に走り抜けるルート（約95km）
- ④ 鬼怒・小貝リバーサイドルート（仮称）：筑波山を望みながら、かわとまちをつなぎ、街中のスポットを楽しめるルート（約120km）

7 サイクルツーリズムを推進するための主な施策

7.1 施策の方向性

- ① 走行環境・受入環境の整備
- ② ターゲットやルートの特徴に応じたサイクリングの楽しみ方づくり
- ③ 効果的で多様な情報発信
- ④ 推進体制の充実

7.2 施策の内容

① 走行環境・受入環境の整備

- ・ 広域的なサイクリングロードの整備推進
- ・ 安全・快適な自転車走行空間（サイン表示）の整備推進
- ・ 多言語を含む案内誘導看板等の設置推進
- ・ 茨城空港や道の駅などの交通結節点におけるサイクル拠点化の検討
- ・ サイクリストが憩い、くつろげ、サービスを受けられ、目的地として選びたくなる拠点の整備
- ・ おもてなしや観光案内をサポートするサイクリングガイドの養成・活用
- ・ 主要観光地や駅などにおけるレンタサイクルの導入検討
- ・ 「サイクリストにやさしい宿」の認定 など

②ターゲットやルートの特徴に応じたサイクリングの楽しみ方作り

- ・ SDGs の理念を踏まえた食や自然、歴史を巡るサイクリング、キャンプや茨城ならではの様々なアクティビティを組み合わせたアドベンチャーツーリズムの提案・推進
- ・ 国外サイクリストが体験したくなる茨城ならではの様々な日本文化を組み合わせた自転車旅の提案・推進
- ・ サイクリストの目的地として選ばれる休憩施設の魅力づくり
- ・ サイクリングイベント、ガイドツアーの推進
- ・ 街なか等おすすめサイクリングコースの設定
- ・ 大規模イベント（(例)デスティネーションキャンペーン※）との連携・誘致等の検討 など

※ J R グループ 6 社の宣伝媒体を活用し、開催地の魅力的な観光資源やイベント、おもてなしの取り組み等について、集中的な宣伝を全国で実施する国内最大規模の観光キャンペーン。令和 5 年に茨城県開催。

③効果的で多様な情報発信

- ・ 首都圏や海外でのサイクリングイベントへの出展による国内外での情報発信
- ・ 女性の発信力を活かした SNS の活用や雑誌、メディア広告等の活用
- ・ サイクリスト愛好者が集う SNS グループとの連携
- ・ 全県的なサイクリングマップ、サイクリストが活用するアプリによるルート PR
- ・ デジタルマーケティング等の活用によるデータの収集 など

④推進体制の充実

- ・ 推進体制（協議会等）ごとにルートの特性に基づくアクションプランの設定
- ・ 推進体制間の情報共有を図り、イベント等実施する関連団体との連携を強化
- ・ 設立した協議会の自走化を目指した活動支援 など

※ サイクルツーリズムを推進するうえでの基盤となる交通安全対策についてもあわせて行っていく。

8 モデルルート図

凡例

広域のサイクリングを対象としたネットワークを構成するモデルルート

- 奥久慈里山ヒルクライムルート
- 大洗・ひたち海浜シーサイドルート
- つくば霞ヶ浦りんりんルート
- つくば霞ヶ浦りんりんロード

- 出発地
- 目的地
- 主要駅
- 道の駅
- 茨城空港

奥久慈里山ヒルクライムルート

県内最高峰・八溝山の山頂や里山の風景を巡るチャレンジルート。
奥久慈の山々と久慈川が織りなす美しい景観を楽しめる。(中級者～上級者向け)

つくば霞ヶ浦りんりんルート

「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を核とした多彩な地域資源を巡るルート。
筑波山のヒルクライムや、土浦や潮来、桜川市内の散策に加え、沿線の地域資源が楽しめる。(ビギナー～上級者向け)

つくば霞ヶ浦りんりんロード



大洗・ひたち海浜シーサイドルート

美しく、変化に富んだ海岸線などを爽快に走り抜けるルート。
海食崖や岩礁など変化に富む風景が広がる。(ビギナー～上級者向け)

鬼怒・小貝リバーサイドルート(仮称)

筑波山を望みながら、かわとまちをつなぎ、街中のスポットを楽しむルート。
(参考) 国及び流域市町が河川堤防にサイクリングロードを整備中

(注1) ネットワークを構成する路線は、関係機関との調整等により変動する場合があります。
また、今後の自転車利活用の進展に応じて、ネットワークの拡充を図ります。
(注2) 鬼怒・小貝リバーサイドルート(仮称)については、別途、鬼怒川・小貝川かわまちづくり推進協議会で整備中であり、ルートを点線表示しています。